

令和3年9月9日

保護者の皆様

紀の川市立東貴志小学校
校長 三浦正嗣

感染症対策 ～できるだけ濃厚接触者を出さないために～ (お願い)

いつもお世話になり、ありがとうございます。

さて、市教育委員会からの情報では、岩出保健所管内での事例をもとにすると、小学生の陽性者が出たケースでも、

□マスクの着用・手指消毒・換気の3つが徹底されている。

□給食の際、「黙食」が徹底されている。

場合、学校の教育活動に起因する濃厚接触者は無かったとのことでした。



皆様もご存じのように、保健所から濃厚接触者の指定を受けると、基本的に2週間の行動制限が付き、この間、本人はもちろん、関係する人まで生活に変化が生じます。学校で言えば、教員なら出勤・授業ができない、児童であれば対面の授業が受けられない等の影響があり、人数によっては学級閉鎖の可能性もあります。家庭で言えば、保護者が仕事を休まないといけない等の影響が考えられます。

※濃厚接触者でない人への検査のため、一時的な学級閉鎖は想定されます。

陽性者とならないことが何よりですが、現状では、万が一、陽性者が出ても、濃厚接触者をできるだけ減らす、出さないことが重要になってきます。

そこで、これまでと重複することもあります。改めて現時点での対応のポイントをまとめましたのでご確認ください。

☑できる限り不織布マスクの使用をお願いします。

※ポリウレタン製マスクの場合は、接触の内容によって濃厚接触者と指定される場合があるようです。布マスクは、製品により機能に差がありますので、できるだけ不織布マスクと同程度の機能のものにしてください。

☑体育の授業では、基本的にマスクを着用しますが、熱中症対策や激しい運動の場面は、外します。

☑体育の授業の指導場面では、教職員はできるだけポータブルスピーカーや電子ホイッスルを使用します。

☑体育以外の教育活動でも、これまでどおり感染症対策に配慮し、十分な換気やソーシャルディスタンス、適切な活動形態を考慮していきます。

☑給食後の「歯みがきタイム」の中止は、しばらく継続します。

※歯みがき中の接触の内容により、濃厚接触者と指定される場合があるようです。